

「水辺の小さな自然再生」事例紹介

記入年月 2018年11月

都道府県名	秋田県		河川名	斉内川		
事例タイトル	小さな自然再生を活用した多自然川づくり職員研修					
写真						
水系名/河川名	雄物川水系/斉内川		場所	秋田県大仙市市中仙地内		
位置情報 (緯度経度)	39.538000, 140.533444		活動開始年	平成28年		
活動概要 (経緯・目的等)	<p>県内河川では、これまでの河川工事（河川改修、災害復旧等）に伴う瀬や淵の消失など、河床の平坦化等による魚類等の水生生物の減少、護岸等の設置による河畔林や水際の河岸植生の消失など、環境面や景観面で多様性を失った河川が見受けられる。河川工事においては、現在、改正河川法等より、河川の有する環境や景観の保全が河川管理の目的として位置づけられ、多自然川づくりへの取り組みが河川管理者に求められている。こうした中、県内自治体の土木職員に対して、中小河川における川づくりの在り方、自然再生のための環境設定の考え方などのほか、容易、かつ安価に施工できる自然再生工法等についての知識習得を図り、多自然川づくりへの意識の向上、河川工事の現場で取り組みを進めるための活動を「小さな自然再生現地研修会」として行っているものである。</p>					
再生の手法	簡易魚道	簡易水制（巨石・ブヨウキ）	バープ工（上向き水制）	○	石倉かご・竹蛇籠	植生ロール・ポット
	魚道改良	たまり・わんど造成	河床攪乱		その他（記述）	
実施体制 (活動の担い手)	市民・市民団体	河川管理者（国）	河川管理者（都道府県）	○	河川管理者（市町村）	○ 河川管理者以外の地元自治体
	大学・研究機関	学校（小中高）	企業		その他（記述）	河川工事施工業者
工夫した点	<p>県内自治体の土木職員のみでなく、実際に工事を施工する施工会社の担当職員への参加を呼びかけ、官・民一体となった川づくりへの座学等による知識習得のほか、実際に工事により瀬・淵の消失し平坦化の進んだ河川を選定し、自然再生工法（バープ工等）による試験施工を現地研修会として直営施工にて実施した。</p>					
今後の課題	<p>人事異動等に伴う河川工事担当職員の入れ替わりがある中、多自然川づくりへの取り組みを後退させることなく、継続的に進める必要がある。このため、すべての土木職員が多自然川づくり（自然再生・保全）への意識を高め、河川工事ごとに、自然再生に配慮した取り組みを建設的に行えるような体制づくりを図ることが重要であるため、現地研修会（座学、自然再生工法による現地研修）等による知識習得の場の継続的な確保が必要である。</p>					
効果 (直接的な効果・間接的な効果)	<p>研修会に参加した職員の中で、自然再生工法として設置したバープ工について、設置後の河道（瀬・淵）の変化状況を継続的に確認している職員や自ら担当する河川工事において、現地採取した材料によりバープ工群を施工する職員がいるなど、多自然川づくりへの意識の高まりが見られた。また、研修参加職員の大半が多自然川づくり現地研修会の継続的な開催を望んでおり、自然再生等に関する知識習得への意欲が非常に高いものとなっている。</p>					
関連URL等						